

広報

# ただみ

2

2018 月号

No. 573  
平成30年2月10日

## 今月の表紙

今月の表紙は、1月12日に明和保育所で行われた「団子さし」で、ミズノキに団子を飾る瞬間です。

ミズノキは、低い位置から団子やお菓子が飾り付けられていき、年長のさくら組さんは最後に残った高い枝に飾り付けようとミズノキを引き寄せながら一生懸命に手を伸ばし、色鮮やかなミズノキを完成させました。  
(関連記事:P15)

## 《特集》

青少年健全育成主張大会及び各種表彰…… 2～5

学術調査研究助成事業成果発表会…… 6～9

## 《News&flash》

知られざる南会津戊辰セミナー ほか…… 10～13

## 《町の話》

南会津高校の山内花さん大会連覇 ほか

…… 14～15



「只見町の将来について考える」

只見小学校6年  
目黒 元基さん



「僕の考える只見町の未来」

朝日小学校6年  
三瓶 創大さん



「引き継ぎたい伝統芸能」

明和小学校6年  
印南 蒼羽さん



「中学校生活スタート」

只見中学校1年  
浅野 礼さん



「生徒会長として」

只見中学校2年  
酒井 香苗さん



## ～私の想いを届けたい～ 第32回

# 只見町青少年健全育成主張大会

「生徒会執行部の活動を通して」

只見中学校3年  
鈴木 舞花さん



「生徒会で学んだこと」

只見高校2年  
吉津 万尋さん



「私の夢」

只見高校2年  
角田 真央さん



「私の友達」

只見高校1年  
小室 幸子さん



「主張大会講評」

只見小学校校長 関根 隆氏  
発表はどれも素晴らしく、将来を担う子どもたちのために、私たち町民は町のことをもつと考えていかななくてはならないと感じました。





▲主張大会発表者及び表彰式に出席された健全育成標語入賞者の皆さん

### 第30回 青少年健全育成標語入賞作品(敬称略)

部門	賞名	標語	所属	氏名
小学生の部	優秀賞	だいじょうぶ 声をかければ ほら笑顔	只見小5年	ゆだ らいき 湯田 来喜
	佳作	ブナの森 ポイすていやだと さげんでる	朝日小5年	いわさ のの あ 岩佐 乃杏
	佳作	あいさつで つながるつながる 笑顔の輪	明和小5年	やなとり ななこ 梁取 ななこ
	佳作	やっちゃダメ 自分がされて いやな事	明和小5年	やまうち ゆづき 山内 柚妃
中学生の部	優秀賞	おはようも 目と目をみてこそ 意味をなす	只見中2年	すずき りょう 鈴木 涼
	佳作	思いやり 心をつなぐ 只見町	只見中1年	ばば こんだい 馬場 滉大
	佳作	目指すのは スマイルパーク 只見町	只見中2年	ふざわ かげつき 布沢 翔月
	佳作	「ごめんね」に 「だって」と「でも」が 先回り	只見中3年	はっとり あん な 服部 杏菜
高校生の部	佳作	たくさんの 笑顔を見よう あいさつで	只見高1年	いづか ゆう 飯塚 優
	佳作	あいさつと 笑顔ではじまる よい一日	只見高1年	すずき れん 鈴木 萌
	佳作	あいさつで 笑顔あふれる 只見町	只見高1年	さとう みずず 佐藤 美鈴
一般の部	優秀賞	子を思い ひと声かけて 気にかけて	福井	わたなべ なおえ 渡部 直江
	佳作	「聞いてよね」 悩み打ち明け 道拓く	蒲生	たなか ケイ子 田中 ケイ子
	佳作	ふやそうね やさしさ 幸せ 思いやり	梁取	やまうち たくのり 山内 拓則
	佳作	「ありがとう」 心に灯す 愛言葉	只見中教員	いけがみ ていち 池上 禎一

1月27日、季の郷湯ら里で「第32回青少年健全育成主張大会」、「第30回青少年健全育成標語入賞者表彰式」、「平成29年度芸術文化賞・スポーツ優秀選手表彰式」、「第41回只見町民文芸コンクール表彰式」が行われました。

「青少年健全育成主張大会」では、町内の小・中・高校生9名がそれぞれ

の熱い思い・考えを発表しました。来場者約150名の前で堂々と発表した9名に、会場からは大きな拍手が贈られました。

また各種表彰式では、菅家町長や角田行雄教育長職務代理者がそれぞれに賞状と記念品を手渡し、その活躍を称えました。各受賞者は左記

および次頁のとおりです。

### 「健全育成講演会」

当日会場では、只見町ブナセンター長の新国勇さんを講師に迎え、「あたりまえ、調べてみたら日本」や「ばいぞー！只見の自然と文化」と題した講演会が行われました。

講演はクイズ形式で、雪食地形やユビソヤナギなど町の自然環境に関することや、巻物や神皇正統記など町の歴史文化に関することの中から、町の日本一について述べられました。

新国さんは「これらは学術調査により証明されたものであり、町民が町の自然と文化を大切に暮らすことが『只見ユネスコエコパーク』です」と伝えました。



▲町の優れた特徴を伝える新国さん



▲芸術文化・スポーツ優秀選手賞の受賞者と関係者の皆さん

# 平成29年度芸術文化賞・スポーツ優秀選手賞表彰者(敬称略)

## 【芸術文化賞表彰者】

- ▽目黒ゆまり(朝日小1年) Ⅱ平成29年度歯科衛生図画・ポスター・書写・標語コンクール/図画小学校1学年の部・優秀賞
- ▽大東咲来(明和小4年) Ⅱ平成29年度ふくしまつ子ごほんコンテスト/小学校上学年の部・最優秀賞
- ▽服部香菜(只見中3年) Ⅱ第63回青少年読書感想文全国コンクール福島県審査/中学3年の部・準特選

## 【スポーツ優秀選手表彰者】

- ▽新國太陽(只見町スキースポーツ少年団) Ⅱ第69回県スポーツ少年団体育大会スキー競技会兼第20回県ジュニアスキー選手権競技会/アルペン2位
- ▽鈴木来菜(只見町スキースポーツ少年団) Ⅱ①第38回県ジュニア・アルペン公認記録会/県大会3位 Ⅱ②第37回ジュニアアルペンスキー東北決勝大会/5位
- ▽吉津知巴・小森佑衣奈・目黒夏穂(只見剣道スポーツ少年団) Ⅱ第50回記念全会津少年剣道大会/団体戦小学生の部(4年生以下) 優勝
- ▽目黒楓華(只見中2年) Ⅱ第59回

## 県中学校体育大会スキー競技大会/クロスカントリー優勝

- ▽目黒楓華・鈴木美羽・馬場遊茶(只見中スキー部) Ⅱ第59回県中学校体育大会スキー競技大会/クロスカントリー1位 優勝
- ▽新國理紗(只見中3年) Ⅱ第65回全会津中学校体育大会陸上競技大会/砲丸投げ優勝
- ▽山中千夏・鈴木美羽・星菜織・五十嵐せな・酒井香苗・鈴木来菜・橋川綾乃・飯塚みゆき・新國理紗・梁取結花・小野佑月・星佑奈・三瓶楓(只見中女子バレー部) Ⅱ第65回全会津中学校体育大会バレーボール競技大会/優勝
- ▽馬場菊(只見中2年) Ⅱ第60回県中学校体育大会剣道大会/3位
- ▽鈴木道也(南会津高校2年) Ⅱ平成28年度県高等学校新人スキー大会兼第69回県スキー選手権大会/アルペン2位
- ▽山内花(南会津高校1年) Ⅱ平成28年度県高等学校新人スキー大会兼第69回県スキー選手権大会/クロスカントリー5kmクラシカル・5kmパシユート優勝
- ▽鈴木来菜・高橋はるか(南会津高

## 校バレー部)

- Ⅱ①平成29年度全会津高等学校バレーボール選手権大会/優勝
- ▽新國かずみ(会津学鳳高校バレー部) Ⅱ①第63回県高等学校体育大会バレーボール競技会津地区大会/優勝 Ⅱ②平成29年度県高等学校新人体育大会バレーボール競技会津地区大会/優勝
- ▽目黒豊(若松商業高校3年) Ⅱ第58回春季全会津高等学校野球選手権大会/優勝
- ▽菅家空(田村高校2年) Ⅱ第62回県高校駅伝/2位 Ⅱ②第53回東北高校駅伝競走大会/3位
- ▽渡部智和・五十嵐讓・馬場大輔・三瓶克・長谷部貴一・鈴木卓・藤田暁嗣・大竹大和・横山剛嗣・酒井俊夫・一条英昭・鈴木晃・目黒貴裕・渡部錬・馬場匠・佐藤学・酒井喬也・鈴木優太・長谷川佑樹・小林拓矢・藤田久幸・渡部隼輔・鈴木徹・長谷部秀太・川合祥太郎・長谷川進野(市町村對抗県軟式野球大会只見町チーム) Ⅱ第11回市町村對抗県軟式野球大会/3位



▲町民文芸コンクール受賞者と関係者の皆さん

# 第41回只見町民文芸コンクール入賞者(敬称略)

## 【作文部門】

◎小学校下学年の部▽特選／渡部悠希(朝日小1年)▽入選／木津大翔(朝日小2年)増田巧(朝日小1年)▽佳作／渡部妃咲(朝日小1年)齋藤寧々(朝日小2年)梁取暖明(朝日小2年)◎小学校上学年の部▽特選／矢沢実優(明和小4年)▽入選／新國蒼空(只見小5年)目黒元基(只見小6年)▽佳作／堀金康太(朝日小5年)三瓶創大(朝日小6年)

## 【詩部門】

◎小学校下学年の部▽入選／渡部妃咲(朝日小1年)増田巧(朝日小1年)目黒ゆまり(朝日小1年)◎小学校上学年の部▽入選／渡部美空(朝日小5年)▽佳作／本名真歩(朝日小6年)五十嵐杏(只見小6年)◎中学生の部▽入選／酒井美来(只見中3年)◎高校生の部▽入選／渡部美依(只見高1年)目黒怜華(只見高1年)

## 【短歌部門】

◎小学校下学年の部▽特選／岩佐藩乃(朝日小2年)▽入選／齋藤全(只見小3年)馬場由麻(朝日小

3年)▽佳作／渡部巧人(朝日小3年)目黒季音(朝日小2年)木津大翔(朝日小2年)◎小学校上学年の部▽特選／渡部有希人(只見小5年)▽入選／佐藤優妃(朝日小4年)渡部琉生(朝日小4年)▽佳作／酒井湧司(明和小4年)藁谷花(朝日小5年)大竹未桜(只見小6年)◎中学生の部▽入選／梁取ゆず(只見中2年)▽佳作／小野佑月(只見中2年)渡部千春(只見中2年)小林聖佳(只見中3年)◎高校生の部▽特選／目黒明日香(只見高2年)▽入選／目黒柚季(只見高1年)▽佳作／齋藤明日夏(只見高2年)加瀬龍光(只見高1年)◎一般の部▽特選／渡部ミヤ(小川)▽入選／目黒永子(只見)関谷登美子(只見)▽佳作／齋藤由美子(大倉)吉津久仁子(黒谷)菅家ミヨ子(只見)

## 【俳句部門】

◎小学校下学年の部▽特選／青山翔(只見小2年)▽入選／山本朋佳(明和小3年)長谷部優歌(只見小3年)▽佳作／新國菜々香(只見小2年)岩佐藩乃(朝日小2年)馬場由麻(朝日小3年)◎小学校上学年

の部▽特選／吉津就(朝日小4年)▽入選／渡部琉生(朝日小4年)新國夢萌(只見小4年)▽佳作／角田愛莉(明和小6年)渡部悠行(朝日小5年)大竹蓮斗(明和小4年)◎中学生の部▽特選／新国理紗(只見中3年)▽入選／服部杏菜(只見中3年)吉津沙優(只見中3年)▽佳作／小柴翔天(只見中3年)三瓶楓(只見中1年)目黒優斗(只見中2年)◎高校生の部▽特選／飯塚優(只見高1年)入選／嶋早織(只見高1年)菅家夏芽(只見高1年)▽佳作／橋詰龍哉(只見高2年)大久保翼(只見高2年)橋本昂典(只見高2年)◎一般の部▽特選／三瓶淑子(大倉)▽入選／齋藤由美子(大倉)渡部直江(福井)▽佳作／船木トモ子(黒谷)馬場直子(蒲生)五十嵐邦男(長浜)

## 【ラオト短歌部門】

◎一般の部▽佳作／目黒富子(黒谷)

## 【ラオト俳句部門】

◎一般の部▽入選／目黒富子(黒谷)

# 平成29年度「自然首都・只見」学術調査研究助成事業

## 「成果発表会」で町の価値を再認識



▲参加者が発表に対し熱心に耳を傾け、活発な質疑応答が行われた成果発表会

1月28日、平成29年度「自然首都・只見」学術調査研究助成事業の成果発表会が朝日振興センターで行われ、町内外から約40名が参加しました。

只見町には、いまだに自然環境や野生生物に関する学術調査が行われていない場所が存在し、未解明の部分が多く残されています。また、地域住民による森林資源などの土地利用の歴史も明らかにする必要があります。そこで町では、「自然首都・只見」学術調査研究助成制度を設け、こうした分野を対象に学術調査を進める研究グループに支援、助成をしています。この事業により只見町の自然や文化に関する新たな知見の発見や各研究機関との交流、研究成果の活用などが期待される場所です。

今年度は、6件の学術調査研究が行われ、「只見町の代表的な植物であるブナやヒメサユリに関する調査研究」、「只見町の集落周辺の落葉広葉樹二次

林に関する調査研究」、「水生昆虫相とそれらが過去にどのような過程を経て現在の分布となったのかを明らかにしようとする調査研究」などをはじめとした、幅広い分野での研究成果が発表されました。

各成果の発表後、只見ユネスコエコパーク支援委員会の崎尾均委員長（新潟大学農学部教授）は講評で「これまでの調査研究の成果は、ブナセンター紀要や学術雑誌に掲載されることで、只見町の情報発信がされている。今回発表された研究者におかれましても、この研究成果を国内外で広く発表していただき、只見ユネスコエコパークのPRにつなげてもらいたい」と述べられました。

このように、調査研究事業によって科学的根拠が明確になることで、町の価値を新たに発見し、再認識できるものであります。ここでは、今回発表された調査研究の成果を詳しくご紹介いたします。

## ブナの葉は尾根と谷で異なるのか？ — 局所スケールにおける樹木形質の変異 —

横浜国立大学 環境情報研究院 酒井 暁子さん



### 調査の目的・方法

尾根などの土地が乾燥して、貧栄養状態にある環境下に分布する樹種の葉の形質は、厚く、面積が小さく、光合成能力が低い。一方で、谷などの湿潤で栄養状態の良い環境下に分布する樹種は、その逆の葉形質を持つ傾向にあることが知られているが、同一の樹種内でもそうした傾向があるかについての研究は不十分となっている。そこで本研究では、ブナの葉の形質が尾根と谷でどのように異なるか、また、どのような要因が影響しているのかを調べた。

調査は、只見町内の尾根から谷にかけてブナの分布が連続している3地点(叶津、白沢、下福井)で行った。この地点の尾根から谷にかけて出現したブナの位置や直径などを記録して、葉を6枚ずつ採取し、葉の形質(葉面積、葉重量、厚さ、葉緑素含量)を測定した。あわ

せて、環境条件として光環境、土壌水分量、地形を調査した。

### 結果・考察

測定の結果、ブナの葉面積、葉重量は尾根ほど小さくなり、葉の厚さ、葉緑素含量も尾根ほど薄く、少なかった。一方で、尾根と谷で土壌含水量や光環境に明瞭な環境傾度は見られなかった。

以上のことから、尾根に分布するブナは、葉緑素の濃度が小さく薄い小さな葉であり、谷に分布するものは、葉緑素を多く含む厚く大きな葉の傾向にあるという従来の多様な樹種を扱った研究とは異なる結果が得られた。なぜこのような結果となったかについては、今後さらなる調査・検討が必要である。



## 多雪地におけるブナの 個体間・個体内での開葉フェノロジー

横浜国立大学 理工学部 西坂 志帆さん

### 調査の目的・方法

植物の開葉時期は、光獲得戦略において重要であり、年間を通じた個体の純生産量を最大化するような最適時期に開葉するとされる。多雪地のブナ林ではブナの優占度が高く同様な性質を持つ葉群が競争する状況にある。そのような環境では、個体の成長段階や個体内の葉群の位置による開葉時期の調節に適応的意義があると考えられ、様々な成長段階のブナの共存に関与している可能性がある。そこで本研究では、多雪地のブナ林において、群落内や個体内の相対高の違いと開葉時期との関係性を明らかにすることを目的として調査した。

調査は、下福井のブナ天然林と楢戸のブナ二次林で行い、それぞれサイズの異なるブナを観察個体に選定し、4月28日～5月19日にかけて冬芽から開葉するま

での過程を観察・記録した。また、観察個体を含むように調査区を設定し毎木調査を行った。

### 結果・考察

毎木調査の結果、下福井は楢戸に比べ本数密度が低かった。ブナの開葉調査の結果では、下福井においては、樹高が低い個体から開葉し、個体内では葉の位置に関わらず一斉に開葉した。楢戸においては、樹高の高いものから開葉し、個体内では高い位置にある葉から開葉した。

以上のことから、ブナの開葉時期が個体サイズや個体内の葉の位置によっても異なることを示すことができた。これらのことはブナの成長段階の違いに加え、融雪時期や光環境の違いが影響していることが考えられた。

## 中期中新世布沢層の花粉と 葉化石から復元する只見の古植生

中央大学大学院 理工学研究科生命科学専攻 今川 美咲さん



### 調査の目的・方法

只見町に分布する海成層である布沢層からは、約100万年前～1300万年前の中期中新世に生育していた植物の化石が産出する。この植物化石のうち、葉の化石からは現在とは異なる過去の植物相が報告されているが、葉の化石からは必ずしも植生の全体像を正確に復元できない。一方、花粉の化石は産出量が多く広範に拡散するため、植生をより詳細に復元できる可能性がある。本研究では、葉の化石に加えて花粉の化石の分析を行い、只見町の古植生と古環境の復元を試みた。

調査は、町内の布沢川と野々沢で葉・花粉の化石を採取した。葉の化石は、形態分類し、可能な限り植物の種類を特定した。また、葉縁解析を行い、過去の年平均気温を推定した。花粉の化石は処理後に顕微

鏡を用いて観察し、植物の種類を特定した。

### 結果・考察

調査の結果、葉の化石には、暖温帯性の常緑樹のブナ科やクスノキ科、高標高地域に生息する落葉広葉樹のカバノキ科、針葉樹のマツ科の樹木が混在した。花粉の化石には、ブナ科やカバノキ科が高率で確認された。また、マングローブ性のヤエヤマヒルギ属も確認されたが、これは暖流の影響の可能性が考えられた。以上のことから、中期中新世布沢層では、山地と沿岸低地域の2つの環境の植物がともに海で堆積したと考えられた。さらに、当時の年平均気温が現在の10度よりも高く推定されたことから、全体として現在よりも温かい温帯気候であるが寒冷化に向かいつつある時期の植生を反映していると推定した。



## 只見町とその周辺地域における ヒメサユリの遺伝的多様性解析

明治大学 研究・知財戦略機構 山本 将さん

### 調査の目的・方法

ヒメサユリは、ユリ科ユリ属の植物で福島県、新潟県、山形県、宮城県のみで自生し、自生地域と野生集団が限られ、国や自生する県で絶滅危惧種に指定されている。一方、ユリの仲間はその保全のために自生地由来でない株を植え戻す場合もあるが、こうした行為は、同じ種であってもその地域に固有な遺伝子を攪乱する問題がある。そのため、本研究では、ヒメサユリの葉や花の形態やDNAを調べることによって、ヒメサユリの野生集団が地域ごとに異なるのかを明らかにすることを目的に調査した。

ヒメサユリの調査は開花期に行い、只見町では7集団（百合平、青少年旅行村、スキー場、要害山、柴倉山、入叶津、塩沢）で145個体において、花や葉のサイズなどの形態調査とDNA解析を行った。

### 結果・考察

形態調査の結果、人が保護、管理している場所ではヒメサユリの生育が良く、大きくなる傾向があったが、環境要因により違いがあるため、明瞭な形態の差を見つけるのは難しかった。

DNA解析の結果では、只見町のヒメサユリは遺伝的多様性を十分に保持していた。これは、只見町では集団や個体数が多いためと考えられた。また、町内の集団間、あるいは他地域ごとに異なる遺伝子を持っていることも考えられた。この原因として、ヒメサユリの自生する環境が山の斜面かつ積雪地域に限られ、花粉や種子の散布範囲が小さく移動が小さいことが考えられる。以上のことから、只見町はヒメサユリの保全上重要な地域と考えられ、移植には他地域のものを用いないほうが良いと考える。



## 只見地域における 広葉樹二次林の群集構造と遷移系列

希少種保全研究会 須崎 智応さん



### 調査の目的・方法

只見町は日本海側気候に属し、ブナを主体とした落葉広葉樹林が発達する。また、只見川、伊南川に沿った集落周辺にはコナラ、ミズナラ、クリなどが主体の落葉広葉樹林が広く分布するが、これら森林の成立には過去の土地利用が深く関係している。

しかし、こうした落葉広葉樹二次林についての調査事例は少ないので、これら林相の異なる落葉広葉樹二次林を調査し、その群集組成や林分構造を解析、比較する中で只見町の二次林の成立過程、その遷移過程を明らかにすることを目的として調査した。

調査は、町内の標高400～687mに位置する林相の異なる落葉広葉樹林20林分を対象に、樹木群集、林床植生、更新状況とクラスター分析(似ている林分を分類する分析)を行った。

### 結果・考察

クラスター分析の結果、樹木群集は4群4小群、林床植生は6群に類型化され、ブナ型、ミズナラ型、クリ型、コナラ型の4タイプがみられた。また、ブナ、クリは大きなサイズのものが介在し、ミズナラ、コナラは大きなものがなかった。これは、過去の人為の影響の強度の違いと考えられた。また、これらの二次林は集落周辺で混在するが、コナラ型が多く、これは薪炭材生産を目的に伐採、利用が繰り返行われてきた結果と考えられた。同様に多く見られるクリ林は実の採取を目的として選択的に保護・育成されてきた結果と考えられた。以上のことからミズナラ林は、ブナ林からコナラ林への移行時期に形成され、シラカンバ、アカマツ林は火入れなど強度の攪乱が繰り返されることで形成されると推察された。



## 只見町の水生昆虫相と その系統地理学的位置づけ

信州大学 学術研究院理学系 東城 幸治さん

### 調査の目的・方法

日本列島は約2000万年前ごろまでは、ユーラシア大陸の東縁に位置しており、その後、東北日本と南西日本がそれぞれ独立して離裂したとされている。独立して離裂したことは、生物の系統分布にも大きく影響してきたと考えられる。北東日本と南西日本の間には長きに渡り、フォッサマグナと呼ばれる浅海が広がっていたとされている。このフォッサマグナあたりを境界に種分化・亜種分化、遺伝的分化をしている動物は多く知られている。調査対象である只見地域もフォッサマグナの東端に近く、様々な系統がせめぎあっている地域である。本研究では、町内における水生昆虫相の把握を目的とした調査を実施し、分布域の境界なども関連付けられるいくつかの水生昆虫類を対象にした分子系統地理学的研究を試みた。

### 結果・考察

現在、水生昆虫相、水生昆虫類の遺伝子解析ともに調査、解析を行っているところであるが、いくつかの種群については解析結果が得られている。

トワダカワゲラ類に関しては、只見町内で採取された個体はミネトワダカワゲラであることが確認されており、この種は只見町周辺が本種の分布北限付近となる。

東北地方の南部地域は、様々な動植物の分布境界にもなっており、トワダカワゲラ類に関してもそのような結果が示された。今後は、水生昆虫相の調査に関しても公表を目指して、データ整理を試みたい。

新年の飛躍を誓う

平成30年「只見町新年交歓会」

1月5日、季の郷湯ら里で「平成30年只見町新年交歓会」を開催し、町内の事業者や団体など約150名の方が出席し、新年を祝いました。

年頭の挨拶では、菅家町長が「本町の最重要課題である人口減少に歯止めをかけるべく、住民と行政との協働、自然との共生など六つの基本政策を柱にした町づくりに取り組みしていきます」とし、続けて齋藤町議会議長が「町創生の種をまき、芽を育てる施策について町当局と共に切磋琢磨し、町発展のために全力を尽くします」と話しました。また、大谷英明県



▲五十嵐委員長の発声で乾杯する出席者

南会津地方振興局長が「県として、地方創生の推進などを、地域とともに取り組んでいきます」と祝辞を述べられました。

その後、只見松楓会が祝詞「鶴亀」を披露し、五十嵐聰江町赤十字奉仕団委員長の発声で乾杯しました。祝宴では、つくし会による「高砂」、「千鳥の舞い」の舞踊が披露され、最後に只見町区長連絡協議会長の長谷部多一只見区長による万歳三唱で、今年のさらなる飛躍を出席者とともに誓いました。



▲祝詞を披露する只見松楓会の方々

防火の誓い新たに

「平成30年消防出初め式」実施

1月6日、朝日振興センターで「平成30年消防出初め式」が行われ、団員や婦人消防隊など約60名が出席しました。

無火災祈願祭では、菅家町長と目黒邦友消防団長が玉串をささげ、地域の安全を祈願しました。訓示では、菅家町長が「今年も町民の安全を守り、防火意識の高揚に努めてください」と話し、目黒消防団長が「広域消防署や南会津警察署との連携を密にし、町民の生命・財産を守るために、今年もよろしくお願したい」と述べ、防火意識の高揚を誓い、地域の安全を守る決意を新たにしました。



▲今年1年の安全を祈願する菅家町長

只見農産加工企業組合が

「エゴママイスター」認定報告

1月16日、(社)日本エゴマ協会が実施する「エゴママイスター認定試験」に合格した只見農産加工企業組合「げんき村」の齋藤幹子さんが役場を訪れ、菅家町長に認定報告を行いました。この試験は、同協会が今年度から行っているもので、全国から12名が「エゴママイスター」の認定を受けました。認定者は、エゴマの調理・栽培などといった指導や畑の検査、同協会が定める品質表示マークの審査・認定などが行えます。齋藤さんは「エゴマの普及や拡大を図り、医療機関と連携した町全体の健康寿命を伸ばしたい」と話しました。



▲認定報告をした齋藤幹子さん(中右)と藤田力さん(中左)

# 「知られざる南会津戊辰セミナー」開催

1月20日、戊辰150周年を記念して南会津地方の戊辰に焦点を当てた「知られざる南会津戊辰セミナー」が只見振興センターで開催され、町内外から約200名が参加しました。

このセミナーは、県南会津地方振興局と町内の歴史文化・観光団体などで組織する「奥会津只見戊辰150周年記念事業実行委員会」が主催で、これまで触れる機会の少なかった南会津地方の戊辰を紹介したものです。



▲若い世代も参加した南会津戊辰セミナー

セミナーの第1部では、奥会津博物館（南会津町）の渡部康人研究員による「南会津の戊辰戦争」と題した講演が行われました。講演では、江戸幕府領の南山御役知（旧南山御蔵入領）には軍隊が組織されていなかったため、農民から兵士を募集し西軍と戦ったことや、1868（慶応4）年9月22日に会津藩が降伏した以降も、降伏の報が届く同24日まで大規模な戦闘が行われていたことなどが紹介されました。

セミナーの第2部では、「戊辰戦争が南会津に遺したものをテーマにパネル討論が行われました。パネル討論では、同事業実行委員会の飯塚恒夫会長、講演を行った渡部研究員、奥会津の戊辰戦争について詳しいフリーライター高橋盛男さん、只見町河井継之助記念館ガイドの五十嵐アツ子さんがパネリストを務め、南会津地方での戦いや当時の人々について語りました。

最後に、「南会津でも戊辰戦争があったことは事実である。多くの方に南会津の戊辰に興味を持っていただきたい」とし、セミナーを締めくくりました。

## 越後救った「命の種もみ」

奥会津只見戊辰150周年記念事業  
実行委員長  
飯塚 恒夫さん



会津藩と共に戦った長岡藩が敗れ、兵や家族など約1万5千人が八十里越から只見に逃れてきた。当時の只見は大変貧乏だったが、代官「丹羽族（にわか）」を中心に住民たちが長岡藩の人々を受け入れ、1人の餓死者も出さなかった。越後の人々を救った親切心は今も「命の種もみ」として語られている。越後との関係は深く、今も交流が続いている。

## 多くの視点での歴史重要

奥会津博物館  
研究員

渡部 康人さん



戊辰戦争に対して、一般庶民目線で見ると歴史も大事だ。当時の庶民は、会津藩や新政府軍から食料などの提供を求められ、戦鬨で亡くなった人もいるなど、双方に協力しなければならぬ大変な時代であった。しかし、戊辰戦争は江戸時代の社会の仕組みから解放した意味もあり、歴史にはさまざまな視点が重要だ。

## 戦争伝えることが大事

フリーライター  
高橋 盛男さん



昨年11月号のJR東日本の新幹線車内サービス誌「トランヴェール」に南会津地方の戊辰戦争について執筆した。一般的に知られていないこの地方の戊辰は、驚くことばかりだった。田島陣屋奪還戦の頃から南会津地方には会津藩の統制が効いていない状況になった経緯は興味深い。自然が美しい南会津で悲惨な戦争があったことを伝えていくことが大事。

## 忠義を貫いたラストサムライ

只見町河井継之助  
記念館ガイド

五十嵐アツ子さん



戊辰戦争で敗れた長岡藩が只見に逃れる際、八十里越は血と汗と涙の道となった。険しい峠道に女や子どもも老人が犠牲になるなど大変悲惨なものであったことを知ってほしい。只見で亡くなった長岡藩家老の河井継之助は、最後まで忠義を貫いたまさに「ラストサムライ」であり、誇りを持つてガイドをしている。

### 檀戸出身の横山イクさん

## 満百歳で知事賀寿を贈呈

檀戸出身の横山イクさんが1月15日に満百歳の誕生日を迎えられ、ご家族同席のもと知事賀寿贈呈式が同日、現在入所されている特別養護老人ホーム「あさぐさホーム」で行われました。

贈呈式では、県から知事賀寿状と記念品、町からはお祝い金などが贈られました。長男の重喜さんは謝辞の中で「皆さんのお世話になりながらこれからも長生きして、施設の皆さんと楽しく過ごして欲しい」と話されました。

イクさんは子ども1人、孫2人、ひ孫3人に恵まれ、大好きな山遊びで足腰を鍛えられたことが長寿の秘訣とのこと。



▲花束を手にするイクさんとご家族の皆さん

### 雪まつりに向けた準備進む

## 「雪運搬式」で作業の安全祈願

1月18日、第46回只見ふるさと雪まつりの大雪像などに使う雪の運搬式がJR只見駅前広場で行われ、オペレーターや関係者など約20名が出席しました。式では、菅家町長が「大雪像『鶴ヶ城』が無事完成できるように皆さまのご協力をお願いします」とあいさつしました。続いての安全祈願では、菅家町長が雪を運ぶダンプカー6台のタイヤにお神酒をかけ、会場コールドライネーターの小沼信孝さんの発声によりお茶で献杯し、作業員や関係者全員の安全を祈願しました。雪まつりは2月10日(土)～11日(日)の両日開催されます。



▲雪運搬の安全を祈願する関係者の方々

### 明和小の大東さんが「最優秀賞」

## ふくしまっ子ごはんコンテスト

1月23日、県教委が主催する「ふくしまっ子ごはんコンテスト」小学校上学年の部で「最優秀賞」に輝いた明和小4年の大東咲来さんが役場を訪れ、菅家町長に受賞の報告を行いました。

これは、県内の小中学生が料理の腕前を競うコンテストで、大東さんは自宅の畑で採れた野菜を中心に考案した「野さいを食べて暑い夏を乗りきろうごはん」で、見事「最優秀賞」に選ばれました。報告では、大東さんが「最終審査では実際に料理を作り緊張したのが選ばれてうれしかった」と話し、菅家町長が「大変名誉な賞」と大東さんを称えました。



▲賞状を手にする明和小の大東さん(中左)と、多くの児童が頑張った学校に贈られる「学校賞」を手にする渡部校長(中右)

### 簡単・美味しい漬物づくりに挑戦

## 「冬の郷土料理を作ろう」開催

1月24日、教育委員会が主催する人材育成事業と只見学民俗文化編の共同講座「冬の郷土料理を作ろう」が朝日振興センターで行われ、人材育成8期生など約13名が参加しました。講師に酒井佑子さん(坂田)を迎え、冬の郷土料理である漬物の漬け方を学びました。講座では、大根などのしように漬けやすい人参といったメニューに挑戦し、簡単で美味しい漬け方を学びながら実践しました。参加者からは「この機会に家でも作ってみたい」という声が聞かれました。今回漬けた漬物は、2月7日の講座の中で実食する予定です。



▲漬物づくりに挑戦した参加者の皆さん



▲外国の方々も一緒に体験した餅つき大会

1月8日、若者や外国人でにぎわう東京・渋谷で開かれた「新春道玄坂チャリティー餅つき大会」に、町内の農家を中心とした約10名の「只見餅つき隊」が参加し、町産米でついた餅を振る舞いました。これは、渋谷道玄坂商店街振興組合などが企画しているもので、餅つき隊は4年連続で参加し、迫力の餅つきを披露しました。来場者と一緒についた餅は会場内で販売され、売上金はチャリティーとして寄付されました。また、会場では米焼酎「ねっか」の試飲や雪まつりのPRなども行われ、渋谷と只見町の交流が深まりました。

渋谷で交流を深める

## 「只見餅つき隊」が地元をPR

5年間の町の行政改革大綱

## 「第4次只見町行政改革大綱」答申

1月19日、町の5年間の行政改革の根幹を担う、「第4次只見町行政改革大綱(案)」に対する答申書が、佐藤克彦行政機構改革審議会長から菅家町長へ提出されました。これは、12月7日に佐藤会長へ大綱(案)の諮問を行ってから、学識経験者など13名の委員により3回の審議会を経て、今回の答申となったものです。答申で佐藤会長は「審議会の意見を参考に、大綱の推進と執行に努められたい」と述べられました。町では、平成30年度から大綱に基づき効率的な行政経営と質の高い行政サービスの推進を目指します。



▲菅家町長(右)へ答申する佐藤会長(左)

町の重要文化財を火災から守る

## 「成法寺観音堂」で消火訓練

1月28日、国指定文化財「成法寺観音堂(梁取)」で消火訓練が行われ、梁取・小林・大倉地区の消防団と明和婦人消防隊梁取支部、広域消防署只見出張所など約60名が参加しました。これは、文化財防火デーの一環として町内の文化財施設で毎年防火検査などを行い、2年に1度、成法寺で消火訓練を行っているものです。訓練は、本堂からの出火を想定し、本堂付近に向かって一斉に放水したほか、設備の防火検査などを実施しました。最後に、目黒邦友消防団長が「この訓練を教訓に、有事の際に備えてください」と訓示しました。



▲一斉に放水する消防関係者の方々

集落と交流団体が協力

## 活気あふれる布沢のオンベ

1月14日、小正月の伝統行事オンベが布沢集落で行われ、地域住民のほか宇都宮大学の地域活性化サークル「Dーフレンズ」の学生やJR東労組東京地本の方々など約70名が参加しました。オンベの準備では、地域の若手をつくる若宮会と婦人会を中心に、大学生やJR東労組の方々との協力を得て行われました。午後4時、年男年女により点火されたオンベは勢よく燃え上がり、参加者は餅などを残り火であぶりながら食し、無病息災を祈りました。交流団体の方々が多く参加した布沢のオンベは、活気にあふれるものとなりました。



▲残り火で餅などをあぶる参加者の皆さん

## 南会津高校2年・山内花さん(二軒在家)

# 県高体スキー大会・県総体スキー大会で連覇!

南会津高校2年生の山内花さん(二軒在家)が、「第63回県高校体育大会スキー競技」及び「第70回県総体スキー競技会」において、優勝・連覇という輝かしい成績を収めました。

山内さんは、1月11～13日に檜枝岐村の尾瀬檜枝岐クロスカントリースキーコースで行われた「第63回県高校体育大会スキー競技」で、女子クラシカル5kmと女子フリー5kmで優勝し、2年連続の2冠を達成しました。また、1月20～21日に猪苗代町クロスカントリーコースで行われた「第70回県総体スキー競技会」では、距離クラシカル少年女子5kmで3連覇を飾り、距離女子フリー5kmでも初優勝する活躍を見せ、見事2冠を達成しました。

今後行われる全国大会、国体などでの活躍が期待されます。



◀▲(写真提供/福島民友新聞社)  
県高体スキー(檜枝岐村)の上り坂で力強い走りを見せる山内さん

## 只見中学校スキー部がクロカン・アルペン競技で大活躍!

# 「県中体スキー大会」各種目で好成績!東北・全国へ!



▲東北大会・全国大会に出場する選手の皆さん

第60回福島県中学校体育大会スキー競技大会が1月15～17日、猪苗代町クロスカントリースキーコースでクロスカントリー競技、猪苗代スキー場ミネロでアルペン競技が行われました。大会に出場した只見中学校スキー部の生徒たちは、クロカン・アルペンの各種目において、下記のとおり的好成績を収め、見事「東北大会・全国大会」の切符を手に入れました。

大会に出場した只見中3年の目黒楓華さんは、「これまで練習してきたことが結果に結びついた。東北・全国大会では上位入賞を目指し頑張りたい」と話しました。選手は山形県で行われる東北大会、秋田県で開催される全国大会にそれぞれ出場します。

### 《第60回福島県中学校体育大会スキー競技大会の結果(10位以内)》

- ◆クロスカントリー女子フリー 「2位」目黒 楓華さん・3年(全国大会・東北大会)  
「5位」鈴木 美羽さん・3年(全国大会・東北大会)  
「6位」馬場 遊茶さん・3年(全国大会・東北大会)
- ◆クロスカントリー男子フリー 「9位」山内 浩希さん・2年(東北大会)
- ◆クロスカントリー女子クラシカル 「5位」目黒 楓華さん・3年(全国大会・東北大会)  
「6位」馬場 遊茶さん・3年(全国大会・東北大会)  
「8位」鈴木 美羽さん・3年(東北大会)
- ◆クロスカントリー女子リレー 「2位」只見中学校(東北大会)
- ◆クロスカントリー男子リレー 「4位」只見中学校
- ◆アルペンスキー女子スラローム 「6位」鈴木 来菜さん・1年(東北大会)
- ◆アルペンスキー女子ジャイアントスラローム 「10位」鈴木 来菜さん・1年
- ◆総合 「女子総合2位」只見中学校 / 「男女総合3位」只見中学校

## 新年を迎え、心新たに対局を楽しむ 「新春囲碁大会」開催！

1月4日、只見囲碁愛好会が主催する「新春囲碁大会」が只見振興センターで開催され、町内外から16名が参加しました。開催にあたり小沼昇会長が「新年を迎え、新しい気持ちで精進していただきたい」と挨拶し、対局が始まりました。大会では優勝を目指し、16名が2組に分かれ総当たり戦で行われました。上位入賞者には景品が贈られ、参加者は囲碁による交流を楽しみました。



▲対局を楽しむ参加者の皆さん

## 梁取地区の伝統行事 「蚕養万歳」と「早乙女踊り」披露

1月13日、小正月に演じる梁取地区の伝統芸能「蚕養万歳」と「梁取早乙女踊り」が梁取集会施設や区長宅、祝いごとのあった家々で披露されました。集落の方々が集まった梁取集会施設では、保存会長の山内泰介さんが「今年は高校生から小学生まで参加してくれた。伝統ある梁取の郷土芸能を全員で守っていききたい」とあいさつしました。お披露目を行った後は各家々を廻り、家内安全と豊作を祈願しました。



▲中高生3名が早乙女を演じ、小学生3名が道化を披露した「早乙女踊り」

## 小正月の行事を楽しむ！ 明和保育所で「団子さし」を実施

五穀豊穡などを願う小正月の行事「団子さし」が各保育所で行われました。1月12日に行われた明和保育所の「団子さし」では、児童たちが団子づくりや飾りつけなどを体験しました。赤・白・緑の色鮮やかな団子が茹で上がると、お菓子などと一緒にミズノキに飾り付け、最後においしい団子を試食しました。途中には、昔ばなしの会の五十嵐ユキエさんの昔話が披露され、児童たちは聞き入っていました。



▲「団子さし」を楽しんだ明和保育所の皆さん

## 「かるた」で正月の遊びに触れる！ 朝日保育所「かるた大会」開催

1月17日、朝日保育所で「かるた大会」が開催されました。「かるた大会」は、つくし組から年長児のさくら組まで、各組に分かれて行われました。

子どもたちは正座になり、先生が札を読み上げると「はいっ！」と大きな声で「かるた」に手を伸ばしていました。終了後、先生から「ルールを守ってみんないい子でした」と、全員に手作りの賞状が贈られました。



▲「はいっ！」と勢いよく「かるた」に手を伸ばす児童たち  
※なお、かるた大会は各保育所で開催されました

# 広報ただみ診療所

朝日診療所  
所長 若山 隆



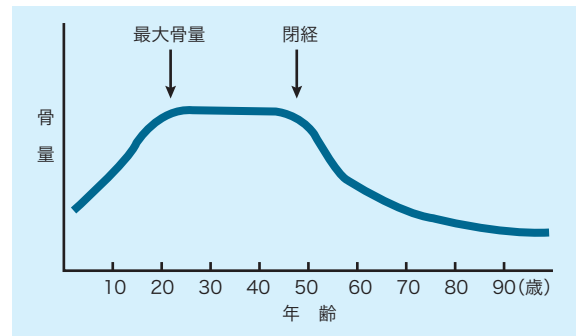
## こつそしょうしょう 「骨粗鬆症について」

まだまだ寒い2月です。地面も凍って、転んで骨折してしまっただなんてことにならないように、今回は骨粗鬆症についてお話させていただきます。

骨粗鬆症とは、骨がもろくなり骨折しやすくなる病気、あるいはその状態をさします。原因のほとんどは加齢にともなう骨粗鬆症です。「図1」をご覧ください。これは女性の骨量と年齢の関係を示した図です。骨は20代あたりで最大骨量に達し、40代半ばでの閉経を迎えたあとから急速に減少していくのが分かると思います。男性の骨量は示されておりませんが、加齢とともに減少していくのは同様です。年齢以外にも注意を要することとして、大酒飲みの人、たばこを吸う人、親が大腿骨(太ももの骨)を骨折している人は骨粗鬆症になりやすいです。閉経された女性や前述の骨粗鬆症になりやすい方は、ぜひ一度骨密度の検査を受けてみましょう。骨密度の検査の代表的な方法はレントゲン撮影で、診療所でも簡単に実施できます。

では、骨を強くするにはどうすればよいのでしょうか?

生活の上では、お酒を飲みすぎない、たばこを吸わないのはもちろんです。有名なのはカルシウムを十分にとることです。牛乳・ヨーグルトといった乳製品がおすすめです。その他、運動も大切です。一日30分の散歩が骨を丈夫にします。冬場で散歩がなかなかできない場合は、室内運動器具を使った運動や踏み台昇降運動などがよいでしょう。骨の強さは、若いころの生活習慣の積み重ねが大きいです。骨折なんて自分はまだ大丈夫と油断せず、将来のためにも頑張りましょう!



「図1」骨粗鬆症の治療と予防ガイドライン2015年版より

## 地域おこし協力隊として 只見町教育振興協力隊 vol.39 渡辺 史



### 「本気!」

只見に越してきてから、早いもので1年が経ちました。春・夏・秋と只見の四季を経験したにも関わらず、やはり印象に残るのは雪。この原稿を執筆している今でさえ絶え間なく雪が降り続けておりますが、それにあまり驚かなくなっていることに対し、これが「雪と暮らすまちに住んでいる自分の姿」であると改めて実感しているところであります。

さて、多くの方のご支援を賜りスタートした「心志塾」も2月1日で1年を迎えることになりました。本当にありがとうございます。この1年、通塾してくれた生徒、とりわけ受験生はスタッフから課される課題に対

して「本気」で取り組んでくれました。そんな生徒たちの「本気」に負けないように、我々スタッフも「本気」で生徒指導にあたりました。3年生はもうすぐ卒業を迎えます。初めての卒業生が、笑顔で新しいスタートを切れるように、あと少し、「本気」でぶつかってほしいと思います。大人子ども関係なく、「本気」の人を応援できるのは、幸せなことだと感じています。

まだまだ受験シーズンは続きます。町民の皆さま方も「本気」の生徒たちがより良く学業に専念できるよう、応援どうぞよろしくお願いいたします!

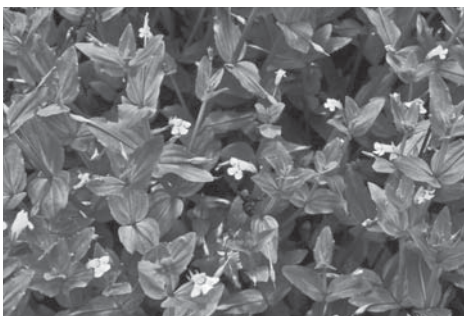


### ただみ水田雑草考④

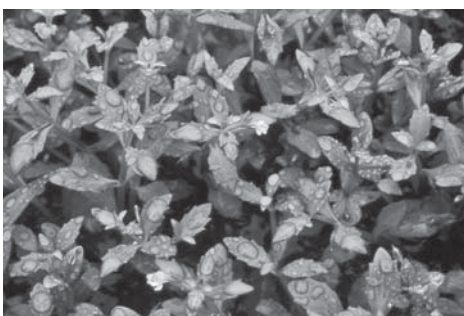
#### 水田の帰化植物

幕末以降、人間の活動とともに外国から渡来し日本に野生化した植物を帰化植物(新帰化植物)と呼んでいます。セ

イタカアワダチソウやブタクサはその代表格です。彼らの好んで生える環境は、土地の造成や河川の氾濫あるいはゴミの投棄や水質汚濁など、自然が何らかの攪乱を受けた場所が多いようです。水田や畑も、自然の側から見れば、以前は湿地や林野であった場所に耕作という一種の攪乱が加わった土壌ですからその例外ではありません。只見町の水田や休耕田ではアメリカセンダングサ(セイタカタウコギ)、タケトアゼナ、アメリカアゼナ、アメリカタカサブロウ、オオクサキビの五種類が確認されました。こ



▲タケトアゼナ



▲アメリカアゼナ

のうち、出現頻度が高かったのはアメリカセンダングサとタケトアゼナです。

アメリカセンダングサは、草高1m以上になる大形の植物で、大正時代に日本に渡来し、在来種のタウコギを追い払いながら全国に分布をひろげてきました。只見町でも、いたるところで見ら

れます。花に短い花弁があり全体有毛でやや紫褐色を帯びることによりタウコギから区別されますが、どちらも稲刈りの邪魔になる点では同じです。

タケトアゼナは、草高10〜20cmの小形の植物で、昭和中期に北米から日本に渡来しました。雄蕊おしべ四本のうち二本には葯やく

がなく、葉に鋸齒きょしがあつて基部ちかくがもつとも幅広い点で在来種のアゼナから区別されます。二〇〇四年発行の『会津只見の植物』(只見町文化財調査報告書第二集)にはタケトアゼナという植物名はなくアメリカアゼナだけが多くの地区に記録されていますが、それらの中にはタケトアゼナに相当するものも含まれていたのではないかと思われま

われます。狭義のアメリカアゼナは葉の基部がクサビ形になり、タケトアゼナの学名上の亜種とされているのですが、互いに亜種として区別しない場合は、両者ともアメリカアゼナとして扱われることがあるからです。近年、この狭義のアメリカアゼナは溜池の湿地などに追いやられ、水田環境ではむしろタケトアゼナの方が優勢になつています。同じ昭和中期に渡来したアメリカタカサブロウも、今では在来種のタカサブロウに取って代わつています。このように、一見同じようにみえる



▲アゼナ

雑草の世界にも人間活動の変化にともなつた栄枯盛衰があるのです。

ところで、アゼナそのものは在来種と言いましたが、じつは有史以前にイネとともに東南アジアから渡来したもので、年代を幕末よりはるかに前にさかのぼつて議論する場合は史前帰化植物などよばれることがあります。イヌビエ、コナギ、イボクサ、タウコギ、ミズガヤツリなどおなじみの水田雑草もその仲間と考えられています。



只見短歌会

十二月詠草

大塚栄一

指導

老いつつも農に活き来し我なれば畑に出づるは樂しみとなり

馬場 八智

木々に付く雪は日差しに丸みおび花の如きにしばし見惚るる

目黒 富子

訪ねたき話したき人思ひつつ叶はぬままに年の瀬迎ふ

関谷登美子

小春日の窓に群れ居るかめ虫の多き今年は深雪なるや

渡部ゆき子

戸惑ひて片付かぬ事多き日は箇条書きにし眺めて過ごす

小倉キミ子

仏壇に供ふる水や果物は同居の従姉が日々上げくるる

新国由紀子

ひ孫らのはしゃぐ姿に目を細めじいちゃん今日は元氣はつらつ

飯島小百合

今年こそ早めに賀状と思へども例年のごと間に合わぬなり

渡部ヨリ子

降り続き積もりし雪の多くして吹雪く窓辺にシクラメン明かし

新国 洋子

(出詠順)

只見俳句会

一月例会

目黒十一

指導

除雪音揺れて響くや村明ける  
垂れ込める雪雲刃向う杉木立

修 一

ねんねこの中にうさぎの帽子ゆれ  
写されて白髪こぼれ冬帽子

都

寒飴を仕込む幸せ桶洗う  
寒晴や銃声三発研して

一 穂

春出水川巾決めて流れ行く  
元日や十五の月の照らしおり

洋子

屠蘇酌むや賀寿祝ぐ宰相額と杯  
初写真両のかいなに抱く曾孫

吉 児

初句会終えてそば食いそば談議  
雪国に誇れる日あり銀世界

弘子

ともかくも雪掻き終えて初日の出  
雪見障子雪の深さの底をみる

幸 生

そば掻きや母の流儀をくずさず  
軒下に薪を積み足す冬構

恒夫

ふるさとの土産を乗せて雪列車  
梅一輪咲きしわが家の猫額

信

今すこし残る未来囀初山河  
大ダムのたもとに仰ぎ初御空

礼

# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
総合政策課	
地域振興係 広報広聴係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林振興課	
農政係	☎82-5230
林政係	☎72-8011
観光商工課	☎82-5240
観光係 商工係	
環境整備課	
地域整備係	☎82-5270
生活環境係	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
朝日診療所	☎86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎84-2221
こぶし苑	☎84-2612
只見振興センター	☎84-2101
朝日振興センター	☎82-2141
明和振興センター	☎84-2111
	☎86-2111

## 税 今月の納期

2月26日までに納めましょう

- 水道使用料(4期)
- 農集排使用料(2月分)

## お知らせ

日本政策金融公庫より  
国の教育ローンのご案内

日本政策金融公庫が実施している「国の教育ローン」は、高校、短大、大学、専修学校、各種学校や外国の高校、大学などに入学・在学するお子さまをお持ちのご家庭を対象とした公的な融資制度です。

●融資額 350万円以内  
(子ども1人につき)

●金利 年1.76%  
※母子家庭などは年1.36%  
(平成29年11月10日現在)

●返済期間 15年以内  
※母子家庭などは18年以内

●問合せ先  
教育ローンコールセンター

☎0570-008-656  
(ナビダイヤル)

☎03-5321-8656

## 試験

社会福祉法人南会津会  
職員採用候補者試験

※詳しくは、HP「国の教育ローン」を検索してください。

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などを運営する社会福祉法人南会津会では、職員採用候補者試験(後期)を次に行います。

●採用予定職種・採用予定人員  
看護職員/2名

●採用予定年月日  
平成30年4月1日

●職務内容  
特別養護老人ホームなどで利用者及び職員などの診療の補助、看護、健康管理、保健衛生などの業務。

・特別養護老人ホームなどでの勤務は交代制。

・介護老人保健施設での勤務は夜勤有り。

●受験資格(次に該当する者)

①普通自動車一種免許取得者又は、平成30年3月31日までに取得見込みの方

②平成30年4月1日現在60歳未満の方

③次の資格を有する方

・保健師助産師看護師法に定める看護師免許又は准看護師免許の取得者(看護師養成施設又は准看護師養成施設を平成30年3月までに卒業する資格取得見込者を含む)

※次の該当者は受験できません。  
・日本の国籍を有しない方

・禁固以上の刑に処せられた方

●試験の方法・日時・場所  
▽面接試験

日時/3月上旬(試験日時は応募者と相談のうえ決定します)

場所/特別養護老人ホーム

田島ホーム会議室  
(住所/南会津町永田字風下3番地1)

※☎0241(63)1111

●試験結果の発表

3月上旬から中旬(本人に通知します)

●合格者の採用

・合格者は、成績順に理事長が採用する者を決定します。

・採用者の当初の勤務先については、当法人の伊南地域、南郷地域、只見地域の特別養護老人ホーム又は介護老人保健施設こぶし苑のいずれかの施設です。

・当法人施設間の異動などにより、勤務地の変更があります。

●給与等

初任給は、当法人の給料表により支給されます。この他に通勤手当、時間外手当、寒冷地手当、期末・勤勉手当、給与改善手当、夜間勤務などの勤務形態に応じた手当が支給されます。

●申込・問合せ先  
社会福祉法人南会津会本部事務局(特別養護老人ホーム田島ホーム内)

☎0241(63)1118

## 只見小学校で人権教育を推進

# 児童のアイデア「人権標語」を展示しました！

人権教育について積極的に取り組む只見小学校では、現在校舎内に児童から募集した「人権標語」が展示されています。この活動は、昨年9月に行われた只見小学校の「人権教育強化月間」の際に、児童会生活委員会から「人権標語を校内で募集しよう」というアイデアから実現したもので、全校生が標語に取り組みました。只見小学校の人権教育は、「自分のことも友だちのことも大切にできる心」を育むために、人権擁護委員の皆さまとともに取り組んでいます。人権擁護委員の渡部等さんは、「児童たちの標語には、『心』を大切にされた素晴らしい言葉が並んでいます」と話し、児童たちの取り組みを称えています。只見小学校では、「来校の際は、ぜひ児童たちの標語を見てほしい」とし、今回の標語の一部を次のとおりご紹介いたします。



▲素晴らしい作品が並んだ只見小学校の標語

### 《標語の一部紹介》

- |             |                                  |
|-------------|----------------------------------|
| 3年生／松永 紗弥さん | 「只見小 みんなが楽しい ほらえがお」              |
| 4年生／新國 夢萌さん | 「自信持って いつも明るく 元気いっぱい」            |
| 5年生／五十嵐零生さん | 「人権は みんなにあるよ わすれずに」              |
| 6年生／目黒 元基さん | 「その言葉 人の心が 泣いている 人権を大切に 言葉をかけよう」 |

## 町長スケジュール

(1月分)

- |   |   |
|---|---|
| 4日 仕事始め式(広域消防只見出張所、あさひヶ丘、役場本庁)、職員辞令交付、臨時庁議  | 住田光学ガラス(株)(南会津町)表敬訪問、只見町商工会新年懇親会                        |
| 5日 只見町新年交歓会   | 19日 只見町行政機構改革審議会答申                                      |
| 6日 只見町消防団消防出初式  | 20日 知られざる南会津戊辰セミナー                                      |
| 9日 農業農村整備事業の推進に関する特別要望、国民健康保険制度改革に関する市町村長説明会、年始知事懇談会(福島市)、県関係機関及び新聞社等年賀挨拶(～10日 福島市ほか) | 22日 只見町議会1月会議、全員協議会                                     |
| 11日 ブナセンター事務局会議、政策調整会議  | 23日 会津医療センター副センター長来庁、ごはんコンテスト明和小学校児童受賞報告、東邦銀行只見支店親和会新年会 |
| 12日 会津大学との産学官連携に関する打合せ  | 24日 政策調整会議  |
| 15日 百歳高齢者知事賀寿贈呈式、定例庁議   | 26日 臨時庁議  |
| 16日 只見町商工会要望、南会津地方環境衛生組合管理者会、南会津地方広域市町村圏組合管理者会、同議会臨時会(南会津町)、南会津地方環境衛生組合協議会臨時会(下郷町)    | 27日 只見町青少年健全育成主張大会並びに各種表彰式、毎日新聞社との懇談会                   |
| 18日 只見ふるさとの雪まつり雪運搬開始式、(株)栃木ニコン、ティーエヌアイ工業(株)(大田原市)、                                    | 28日 「自然首都・只見」学術調査研究助成事業研究成果発表会                          |
|   | 29日 市町村職員年金者連盟只見会総会及び新年懇親会、只見ユネスコエコパーク連絡調整会議            |
|   | 30日 只見ふるさとの雪まつり実行委員会、政策調整会議                             |
|   | 31日 会津を拓く講演会・懇親会(会津若松市)                                 |

# 町民の消息

(12月26日～1月25日届出分) 敬称略

## ■ご結婚おめでとうございます

只見 柏木 真吾♡井上美津紀 神奈川県  
熊倉 角田 宏海♡酒井 未希 南会津町

## ■おくやみ申し上げます

渡部 盛男	94歳	小川
横山 久弥	73歳	黒谷
渡部 啓也	84歳	福井
星 サツキ	91歳	福井
馬場 啓介	90歳	坂田
星 政之	85歳	黒谷
佐藤 友哉	63歳	大倉
菅家 須磨子	91歳	只見
山内 ツギコ	86歳	布沢

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成30年1月1日現在

人口	4,313 (-2)
男	2,114 (-3)
女	2,199 (+1)
世帯数	1,861 (+2)
高齢化率	45.04%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 8 転出 6 出生 3 死亡 7

## あとがき

▽1月の只見町は近年にない積雪により、1月27日に「只見町豪雪対策本部」が約3年ぶりに設置されました。対策本部では、除雪や雪道の運転・通行などに対する注意喚起や今後の降雪情報などを随時お知らせしておりますので、皆さまにおかれましても十分ご注意ください。

▽今年の雪まつりの大雪像は「鶴ヶ城」ということで、大雪や吹雪などの厳しい環境下でも連日準備が進められています。今月号が発行されるときには、ちょうど雪まつりが開催されています。只見町の一大イベント雪まつりに皆さまぜひおいで下りてください。

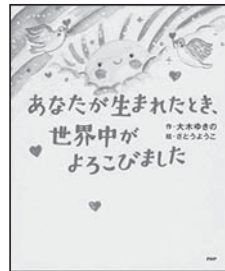
(三瓶)

生涯学習推進員  
浅野リサ

只見振興センター  
図書室 ☎82-2141

# おすすめ新着図書

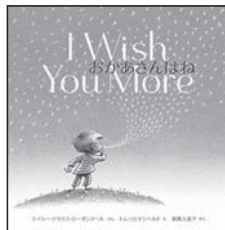
## ★あなたが生まれたとき、世界中がよろこびました



大木ゆきの/著 (HPH研究所)

誰もがうまいかない人生に悩み、時に生きづらさを感じることがあります。でも、あなたは忙しき、つらさのせいで大切なことを忘れてしまっていないか? 「あなたが生まれてくることを、すべてのものが待ち望んでいた。」「そして、あなたが生まれたとき 世界中がよろこんだ。」「空も海も山も、もちろん人も、この世のすべてがあなたの誕生を心待ちにしていました。そして、あなたがいたから、この世界は今もいどられ続けているのです。読むだけで、自分がかけがえのない、大切な存在であることに気づかせてもらえる一冊です。

## ★おかあさんはね



エイミー・クラウス・ローゼンタール/著  
(株)マイクロマガジン社)

"子供に毎日伝えたい、ことばの贈り物。"全米でベストセラーとなり10か国以上で翻訳出版。子どもの健やかな成長を願う終わりのない愛の絵本。「児童書界のフレッド・アステアとジンジャー・ロジャース」と呼ばれているエイミー・クラウス・ローゼンタール&トム・リヒテンヘルド。このコンビの類まれなる才能は、子どもを持つすべての人々の「願い」の集大成を作り上げました。全米のみならず世界中で共感を呼び、各国で翻訳されている話題の絵本です。

## ★ふたご



藤崎彩織/著 (文藝春秋)

借しなくも直木賞は逃したが、執筆に5年の月日を費やしたSEKAI NO OWARI「Saori」の初小説! いつも一人ぼっちでピアノだけが友達だった夏子と、不良っぽく見えるけれども人一倍感受性の強い、月島。彼は自分たちのことを「ふたごのようだ」と言いますが、いつも滅茶苦茶な行動で夏子を困惑させ、夏子の友達と恋愛関係になり、夏子を苦しめます。それでも月島に惹かれる夏子は、誘われるままにバンドに入り、彼の仲間と共同生活を行うことになるのですが…。ひとりでは何もできなかった少女が、型破りの感性を持った少年に導かれるままに成長し、自らの力で居場所を見つけようとする姿を描いた、感動の青春小説です。

★その他にも図書コーナーにはたくさんの本が置いてあります。リクエストも随時受け付けていますので、ぜひご利用ください。

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## 町民憲章

## マガモ (学名: *Anas platyrhynchos*)

[カモ目 カモ科]



▲ 滝湖のマガモ

只見町では、10月中旬～3月下旬にかけて冬鳥であるカモ類が多く渡来します。渡来したカモ類は主に只見湖と滝湖、そして少数が伊南川で越冬します。二つの湖は川をせき止めて造られた人造湖で、ダムができたことでカモ類が生息しやすい止水環境が生じたため、カモ類が集まるようになりました。その中に緑色の頭をしたマガモの群れを見ることができます。マガモのオスは狩猟者からは「アオクビ」と呼ばれることもあり、緑色の頭に白い首輪、褐色の胸、黄色のくちばしが特徴です。メスは、全身が褐色で黒褐色の模様があり、くちばしは橙色に黒色斑といった目立たない色をしています。冬にみるマガモのオスが色鮮やかなのは、つがい形成期であるため、メスにつがいの相手として選んでもらうためのアピールです。そのため、湖に行くと求愛行動をしている姿を見ることができるかもしれません。越冬地でつがい相手を見つけて春になると、連れ立って繁殖地である北に戻っていきます。繁殖期を過ぎたオスはメスと同じような褐色の姿に変わります。これをエクリップスといいます。また、マガモの中には北に戻らず夏もとどまる個体もいるそうです。

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください

企画展示

「守りたい！ 只見の野生動植物

— 只見町の野生動植物を保護する条例 —

期 間：6月25日(月)まで

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー